マルセル・カルネ

Marcel Carne

生年月日 1909/08/18
出身地 フランス／パリ
没年 1996/10/31

【バイオグラフィ】
■保険会社に勤めるかたわら映画の勉強をし、２８年に撮影助手となる。３０年にルネ・クレール監督の下で「巴里の屋根の下」で助監督デビュー、３６年に「ジェニイの家」で念願の監督となった。この作品以後は、詩人でもあった脚本家ジャック・プレヴェールとのコンビによる作品が続き、“詩的リアリズム”と評される名作を世に送り出した。４６年の「枯葉／夜の門」を最後にプレヴェールと決別してからは作品が低迷した。代表作は「悪魔が夜来る」、「天井桟敷の人々」、「嘆きのテレーズ」などがある。

【フィルモグラフィ】

若い狼たち（1967）	監督,脚本
マンハッタンの哀愁（1965）	監督,脚本
広場（ひろっぱ）（1960）	監督,脚本
危険な曲り角（1958）	監督,脚本
遥かなる国から来た男（1956）	監督
われら巴里ッ子（1954）	監督,脚本
嘆きのテレーズ（1952）	監督,脚本
愛人ジュリエット（1951）	監督,脚本
港のマリィ（1949）	監督
枯葉　～夜の門～（1946）	監督
天井桟敷の人々（1945）	監督
悪魔が夜来る（1942）	監督
陽は昇る（1939）	監督
霧の波止場（1938）	監督
北ホテル（1938）	監督,脚本
おかしなドラマ（1937）	監督
ジェニイの家（1936）	監督
外人部隊（1933）	助監督

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.